

新病院の方向性について

●施設整備基本方針

- ① 地域の中核病院として南加賀医療圏の他の医療機関や高度医療機関と連携し、南加賀医療圏に適切な医療を提供できる施設として整備する。
- ② 地域住民の保健・福祉・介護需要に対し、他の関連機関と連携し、適切に対応できる施設として整備する。
- ③ 職員はもとより地域の医療・保健関係機関の人々の医学・医療技術の向上のため、教育・研修できる施設として整備する。
- ④ 入院・外来患者の療養環境を確保し、職員が働きやすい施設として整備する。
- ⑤ 効果的・効率的運営が円滑にでき、将来に渡って持続可能な施設として整備する。
- ⑥ 大規模災害時などの災害時に機能する施設として整備する。
- ⑦ 加賀市としての特色ある医療機関となるよう整備する。

●医療提供体制について

- ① 医療計画に基づき4疾病5事業の中心的な担い手として積極的に取り組む。
 がん・・・外科治療（内視鏡手術等の低侵襲治療ⁱ）、化学療法ⁱⁱ、放射線療法ⁱⁱⁱ
 脳卒中・・・内科的治療（t-PA^{iv}等）、外科的治療（開頭手術）、血管内治療^v
 急性心筋梗塞・・・心臓カテーテル^{vi}、P C I ^{vii}
 糖尿病・・・教育入院^{viii}、地域連携パス^{ix}
- ② 救急に関しては2次救急を市内で完結できることを目標に、体制を整備する。
 24時間対応可能な救急体制の構築は、新病院に最も求められる機能である。
 しかし一病院で1次救急から3次救急の全てを対応するのは人的資源から困難。
 1次から3次救急までそれぞれの役割分担を決め、地区医師会・南加賀医療圏内の他の医療機関、大学等との間で調整、検討する。
- ③ 地域医療機関との医療連携と機能分担を強化し、地域完結型の医療システムの機能発揮に取り組む。
 急性期から慢性期までの診療機能や、保健・医療・福祉の各領域について加賀市内で一定程度完結できる必要がある。新病院を拠点とした地域医療連携の促進と役割分担により、市民が安心して過ごせる環境を提供する。
- ④ 研修医の育成を通じた診療体制の充実
 研修医の育成を通して診療体制の充実を図るため、研修医に魅力ある病院を目指す。そのため、指導医の教育体制や診療設備の充実、将来的には臨床研修指定病院（基幹型）の機能保持、向上による研修体制を構築する。

⑤ 職員にとって魅力ある病院づくり

医療及び医療サービスの質向上のため、医師や看護師といった職員にとって魅力のある病院づくりを目指すとともに、働き甲斐のある職場環境をつくる。また女性職員が働きやすい職場環境とするため、子育て支援の規定を設けるとともに、院内保育所（病児・病後児保育含む）等の厚生施設を更に充実させる。

-
- i なるべく体に傷をつけずに行う内視鏡治療やカテーテル治療を指す。
 - ii 化学物質を使って細菌やウイルスなどの病原性微生物を退治したり、ガンの増殖を抑える治療法のことを指す。
 - iii X線や γ （ガンマ）線といった放射線を照射し、癌細胞の分裂を出来なくし、増殖を抑える治療を指す。
 - iv 脳梗塞の治療薬として保険適用された血栓溶解剤を指す。
 - v 血管内に挿入した医療機器によって行われる治療を指す。血管内手術（Intravascular surgery）とも呼ばれ、治療に際してカテーテルが多用されたので、俗にカテーテル治療や低侵襲的手術、内科的手術とも呼ばれる。
 - vi 細くなったり、閉塞したりしている血管を広げる治療を指す。
 - vii バルーンを使用して細くなったり、閉塞したりしている血管を広げる治療を指す。
 - viii 糖尿病について深く理解して頂くための入院であり、2週間を1クールとして、医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士がチームを組んで患者様の指導にあたっていこうという目的の入院を指す。
 - ix 病診連携と役割分担を明らかにし、安全で質の高い医療を提供する地域連携システムを構築するとともに、糖尿病の治療中断防止や血糖コントロールの維持、合併症の予防・早期発見・治療を指す。